

平成 25 年度前期自己点検・自己評価報告書

専門学校松江総合ビジネスカレッジは、教育水準の向上と本校の目的および社会的責任を達成するために、教職員全員を対象として自己点検・自己評価を実施し、報告書にまとめました。

なお、評価点は 4 点満点で行っています。

総 括

*総平均点が 3.00 以上となった評価項目

①教	育	活	動	3.00		
②教	育	成	果	3.00		
③教	育	環	境	3.01		
④法	令	等	の	遵	守	3.00
⑤社	会	貢	献	3.33		
⑥国	際	交	流	3.21		

*総平均点が 3.00 未満となった評価項目

①教育	理念・目標・育成人材像	2.97						
②学	校	運	営	2.73				
③学	生	支	援	2.99				
④学	生	募	集	と	受	入	れ	2.90
⑤財	務	2.83						

教育全般・法令等などの日常業務に直結する項目で総平均点が 3.00 以上の評価となっています。この結果は教職員が日々の授業や学生指導に力を入れて取り組んでいる成果の現れではないかと考えます。

教育理念等・学校運営など日常業務を行う基本理念となる項目で総平均点が 3.00 未満の評価となっています。この結果は教職員が業務に追われ、基本理念の共通認識が不足していることに原因があるのではないかと考えます。

今後は教職員一同がすべての評価項目に自信を持って評価できるよう教職員間での連携を強化し、また教職員一人ひとりへの指導に努め教育水準の向上と社会的責任の達成に取り組んでまいります。今後ともご支援・ご協力のほどよろしくお願い致します。

平成 25 年 12 月 教務部

1-1 : 教育理念・目標・育成人材像（総平均点 2.97）

番号	評価項目	平均点
1	理念・目的・育成人材像は定められているか	3.27
2	学校の特色として挙げられるものがあるか	3.32
3	学校の将来構想があり、3年~5年程度先を見据えた中期的構想を抱いているか	2.86
4	学校の理念・目的・育成人材・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	2.41

1-2 : 上記 1-1 の項目についての課題

- ①番号 3 について、全体の共通認識がされていないと思う
- ②理念・目的等の学生・保護者への周知度が弱い
- ③まだまだ開かれた学校になっていない
- ④理念等の目標だけ定められており、実際それらに沿って働きかけされていないように感じる

1-3 : 上記 1-2 についての改善策

- ①教職員がしっかり理解できないと、学生・保護者には伝わらないと思う
- ②定期的な周知活動（講演、授業、試験、保護者へのアンケートなど）
- ③理事会等の議事録をホームページ等に公開する
- ④理念等に対して統一された方法、認識、働きかけが必要

2-1 : 学校運営 (総平均点 2.73)

番号	評価項目	平均点
1	学校運営方針は明確に定められ、きちんと教職員に明示され、伝わっているか	2.91
2	学校の目的・目標を達成するための事業計画が定められており、学校は事業計画に沿って運営されているか	2.95
3	運営組織や意思決定機関は、効率的なものになっているか	2.45
4	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	2.27
5	教育活動等に関する情報公開が適切になれされているか	2.81
6	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.00

2-2 : 上記 2-1 の項目についての課題

- ①人事考課が適正に評価されているか疑問
- ②上から下への情報伝達
- ③きちんとした方針、計画は作られているが、細かな実施方法は担当者任せで、担当者以外の周知ができていない
- ④各部・各学科など様々な部分で連携がとれているとは言えないと感じる
- ⑤労働環境の整備が必要（残業代など）

2-3 : 上記 2-2 についての改善策

- ①人事考課の評価方法の見直し
- ②声かけの意識
- ③朝礼の効果的な活用（毎回担当者から説明をするなど）
- ④細かい意見交換の場が必要
- ⑤根本的な見直し

3-1 : 教育活動 (総平均点 3.00)

番号	評価項目	平均点
1	教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けされているか	3.09
2	教育目標、育成人材像や業界の人材ニーズに対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.00
3	カリキュラムは体系的に編成されているか	3.05
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	2.86
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等の連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	2.45
6	関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3.32
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	3.41
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	2.77
9	成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.14
10	資格取得等に関する指導体制は整っているか	3.32
11	育成目標に向け授業を行うことができる能力を備えた教員を確保しているか	3.05
12	職員の能力開発のための研修等が行われているか	2.50

3-2 : 上記 3-1 の項目についての課題

- ①実践的な視点に立ったカリキュラムであるか疑問に感じる部分がある
- ②職員の能力開発の研修回数が少ない
- ③外部からの意見を取り入れていない
- ④教員によって育成目標、カリキュラム、授業内容などに対する考えに差がある
- ⑤教職員も資格を取得する

3-3 : 上記 3-2 についての改善策

- ①教職員の学外実習への取り組み
- ②有料研修でも積極的に参加する（研修費を確保する）
- ③教育課程編成委員会からの意見を反映させる
- ④統一された育成目標と統一された指導が必要
- ⑤資格取得に向けた支援制度を作る

4-1 : 教育成果 (総平均点 3.00)

番号	評価項目	平均点
1	就職率の向上が図られているか	3.32
2	資格取得率の向上が図られているか	3.09
3	退学率の低減が図られているか	3.05
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2.55

4-2 : 上記 4-1 の項目についての課題

- ①卒業後の定着状況が不明瞭
- ②卒業生の評価を知る方法が無い
- ③教職員によって考えに差があるためクラスによって差がでる
- ④学生個々に対して支援、またそれに費やす時間

4-3 : 上記 4-2 についての改善策

- ①企業側へアンケート等で調査をする
- ②卒業生交流会の実施
- ③具体的に教員が指導できるように研修を行う
- ④教員全体で共有できるデータの一元化

5-1 : 学生支援 (総平均点 2.99)

番号	評価項目	平均点
1	就職指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか	3.27
2	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	3.00
3	学生に対する経済的な支援体制は整備され、有効に機能しているか	3.05
4	学生の健康管理を担う組織体制が整備され、有効に機能しているか	2.77
5	課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	2.95
6	学生会館等、学生の生活環境への支援は行われているか	3.18
7	保護者と適切に連携しているか	2.91
8	卒業生への支援体制はあるか	2.81

5-2 : 上記 5-1 の項目についての課題

- ①保護者とのさらなる連携づくり
- ②保健室担当の教員がない
- ③卒業生への支援
- ④要支援者が多く支援室と担任では手が足りない
- ⑤カウンセラーによる教育相談が必要

5-3 : 上記 5-2 についての改善策

- ①定期的に保護者にアンケートを実施する
- ②保健室の充実
- ③卒業生交流会の実施
- ④授業時間数と担任業務とのバランスの見直しをする
- ⑤専任のカウンセラーは無理だが、協力機関の選定ができないものか

6-1 : 教育環境 (総平均点 3.01)

番号	評価項目	平均点
1	施設・設備は、教育上の必要性に充分対応できるよう整備されているか	2.86
2	学内外の実習、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	3.00
3	防災に対する体制は整備されているか	3.18

6-2 : 上記 6-1 の項目についての課題

- ①学外実習等の決定時期をもっと前もって確保できると学生の準備体制が整えられる
- ②机、ロッカー等の整備
- ③防災マニュアル、消防計画が必要
- ④学生の能力に応じたインターンシップの実施

6-3 : 上記 6-2 についての改善策

- ①各学科で連携により、候補日を年度初めに決定する
- ②教室内備品の充実
- ③防災マニュアル、消防計画の作成
- ④実習内容、企業対応等、数多くの選択肢を用意する

7-1 : 学生募集と受入れ (総平均点 2.90)

番号	評価項目	平均点
1	学生募集活動は、適正に行われているか	2.95
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.00
3	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	2.59
4	学納金は妥当なものとなっているか	3.05

7-2 : 上記 7-1 の項目についての課題

- ①オープンキャンパスの回数の見直し (回数が多く安売り感がある)
- ②だれでも合格にしてしまうこと
- ③入学生の質の向上
- ④学納金が妥当なものかは、内部では判断しにくい
- ⑤グローバル化に向けての募集のあり方

7-3 : 上記 7-2 についての改善策

- ①夏休み等は回数を増やし、通常月は回数を減らす
- ②現状では学生数を確保することが困難なため不合格者を出すことが厳しい
- ③教育の結果を出して入学希望者を増やす
- ④学校関係者に意見を求めることが必要
- ⑤語学レベルの緩和と面接の重視

8-1 : 財務 (総平均点 2.83)

番号	評価項目	平均点
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2.77
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2.95
3	財務について会計監査が適正に行われているか	3.14
4	財務情報公開の体制は整備されているか	2.45

8-2 : 上記 8-1 の項目についての課題

- ①財務情報公開の体制が整備されていないため、学生・保護者には不当な授業料と思われる。
また
た公開されていないため教員自身も説明できない
- ②財務情報公開をしていない
- ③更なる財務状況の健全化

8-3 : 上記 8-2 についての改善策

- ①きちんと情報公開をする
- ②財務情報公開の範囲を検討する
- ③自浄作用と第三者による監視の併用

9-1 : 法令等の遵守 (総平均点 3.00)

番号	評価項目	平均点
1	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.00
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.18
3	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3.05
4	自己評価結果を公表しているか	2.77

9-2 : 上記 9-1 の項目についての課題

- ①労働時間（休日、残業）が気になる
- ②自己評価の活用
- ③授業や就職に関する問題点の改善はできているが、それ以外については進められていない
- ④就職活動報告書の個人名が記載された状態で閲覧可能な状態になっている

9-3 : 上記 9-2 についての改善策

- ①休日等決める際によく話し合い、多方面の意見を参考にする
- ②活用計画書を作成する
- ③組織として、全項目について協議して公開する
- ④個人名を非公表にする

10-1 : 社会貢献 (総平均点 3.33)

番号	評価項目	平均点
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3.14
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.68
3	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に行っているか	3.18

10-2 : 上記 10-1 の項目についての課題

- ①番号1について弱い
- ②学生のボランティア活動について自主性が弱い
- ③低年齢層、高齢者に向けた取り組み

10-3 : 上記 10-2 についての改善策

- ①パソコン教室など公開講座の回数を増やす
- ②自主的な活動になるような仕組みが必要
- ③空き教室等を開放することで効果的に活用していただく

11-1 : 国際交流 (総平均点 3.21)

番号	評価項目	平均点
1	留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3.23
2	留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	3.45
3	留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	2.95

11-3 : 上記 11-1 の項目についての課題

- ①番号 3 について、関係者以外の人関わりが少ない気がする
- ②今後の受け入れ体制について、募集体制も含めて、明確になっていない

11-4 : 上記 11-3 についての改善策

- ①留学生に関心を持ち、全体で関わるようにする
- ②留学生担当を組織体制に確立する